

記念すべき第1回目の受賞作品が決定!

ゲームデザイナーズ大賞に 「HEAVY RAIN -心の軋むとき-」が受賞 日本を代表するプロのクリエイター11名で選考

社団法人コンピュータエンターテインメント協会

社団法人コンピュータエンターテインメント協会(略称:CESA、会長:和田洋一、所在地:東京都港区)では、開催14回目を迎える「日本ゲーム大賞2010(Japan Game Awards 2010)」に、日本を代表するゲームクリエイター自らがプロの視点で選ぶ「ゲームデザイナーズ大賞」を本年から新設。記念すべき第1回目の大賞は「HEAVY RAIN -心の軋むとき-」(開発元:Quantic Dream / 日本国内での発売・販売元:株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント)が受賞されました。

ゲームデザイナーズ大賞の決定理由として、審査委員長の桜井 政博氏は、

「『HEAVY RAIN -心の軋むとき-』は、主人公の一挙一動に非常に多くの手順を踏ませるゲームです。オレンジジュースを一口飲むだけでも、冷蔵庫の扉を開け、ジュースを手に取り、振って、傾きに気をつけながら口に運びます。ただ、個々の操作は単純で誰にでもわかるものになっています。

ボタンを指示通りに押させるのが目的ではなく、「日常の行動」を常に操作で体現することが重要です。

結果、サスペンスの緊張感と介入感を飛躍的に高めました。

凶悪犯が壁向こうにいるかもしれない状況でアノブをそっとひねる緊張感は、そこだけ操作させても出ないものです。

説得力のあるグラフィックとサウンド、主人公の一人が息絶えてもそのまま進行するシナリオ。他ゲームはもちろん、小説、映画、漫画やドラマなどと比較しても、物語の新たな見せ方を提案していると言えます。

結果、ほぼ全員の審査員の支持と共感を得て、ゲームデザイナーズ大賞受賞となりました。」

と述べております。

「ゲームデザイナーズ大賞」は、クリエイターが作り手の視点から、高い独創性を持ち且つ、ゲームの歴史にその名を刻むべき革新的な作品を選出、称える賞として本年の日本ゲーム大賞2010より新設し、桜井 政博氏(有限会社ソラ代表)を委員長に同賞の趣旨にご賛同いただいた日本を代表する10名のクリエイターで構成される11名の審査員で選出されました。

◆ゲームデザイナーズ大賞選考委員

氏名	社名
飯田 和敏	(株)グラスホッパー・マニファクチャ
イシジロウ	(株)レベルファイブ
上田 文人	(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント
神谷 英樹	プラチナゲームズ(株)
菊池 正義	(株)セガ
河野 一二三	(株)ヌードメーカー
桜井 政博	(有)ソラ
巧 舟	(株)カプコン
外山 圭一郎	(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント
藤澤 仁	(株)スクウェア・エニックス
三上 真司	(株)Tango

(※50音順/敬称省略)

この度の「ゲームデザイナーズ大賞」により、クリエイターの視点で見たゲームの魅力も今後、日本ゲーム大賞から発信してまいります。今後是非ご期待ください。

「日本ゲーム大賞」公式サイト:<http://awards.cesa.or.jp/>

「日本ゲーム大賞」年間作品部門に関するお問い合わせ先

「日本ゲーム大賞事務局」(CESA事務局内)

電話:03-3591-1431/ FAX:03-3591-1422 / E-mail:awards@cesa.or.jp